

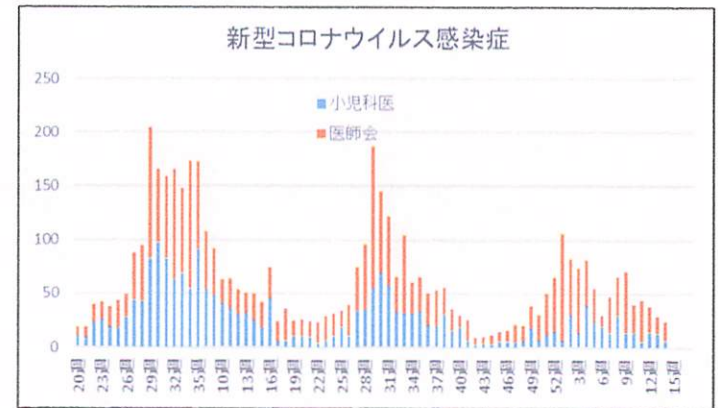
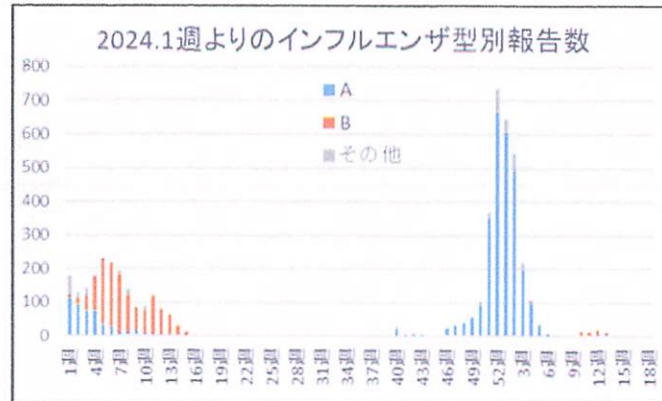
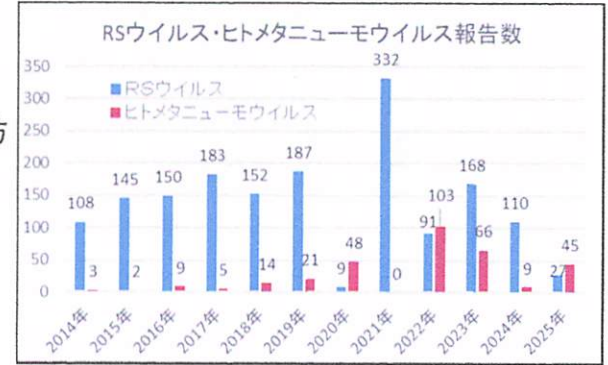
週間感染症情報

2025年13週～14週 2025年3月24日より2025年4月6日まで

13週 14週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	1	
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	3	9
手足口病	1	
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑	1	1
感染性胃腸炎	40	34
ノロウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹		
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	
ヘルペス性口内炎	1	
アデノウイルス感染症	1	
RSウイルス感染症	2	
マイコプラズマ感染症	5	5
ヒトメタニューモウイルス	3	2
インフルエンザ	13	5
インフルエンザ A	8	2
インフルエンザ B	5	3
新型コロナウイルス感染症	29	24

遅くなりましたが、2025年13～14週、2週間の報告です。左下のインフルエンザ型別報告数は2024年1週からのグラフです。春休み中のため大きな流行にはならず終息しました。コロナは減少傾向ですが、20～30例前後と報告が続いています。コロナワクチンは2025年秋の定期接種から国の特別な助成が無くなり、インフルエンザと同様の扱いになります。自費で15000円程度かかりますが、自治体からの助成はどの程度になるのでしょうか?接種率は低下すると思います。溶連菌感染症の報告は続いています。伝染性紅斑の報告は少ないですが増えています。感染性胃腸炎は減少しました。4月7日より「急性呼吸器感染症(ARI)」の定点サーベイランスが始まります。小児科定点の医療機関では、胃腸炎以外はほぼ(ARI)とカウントしなければならぬので煩雑になっています。感染症流行の予防のための意味のある報告となるなら報われますが・・・乳幼児では、RSウイルス感染症・ヒトメタニューモウイルス感染症が小中学生では、マイコプラズマ感染症が流行しています。**全国的に麻疹(はしか)の報告が増えています。麻疹は2回のワクチン接種で予防できます。1歳になったらすぐ、また年長さんも早めにMRワクチンを接種してください。**



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)